学校番号	３２０

令和３年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	世界史Ａ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	新版　世界史Ａ　新訂版（実教出版）						
副教材等	詳新　世界史図録（山川出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

急速に変化しつづけるグローバル化の時代を生きていく私たちには，現代の世界の諸課題に関心を持ち，広い視野から客観的に考察する姿勢や判断力，表現力が求められています。そのため，世界の歴史の大きな枠組みと展開を理解し，歴史的に思考する力を身につけることが大切です。自然環境と人類のかかわりや日本の歴史と世界の歴史のつながり，身近な日常生活の中にみられる世界の歴史を調べることにより，世界史への興味・関心を高め，世界史を学ぶ意義を理解します。
グローバル化の時代を生きるための歴史的な思考力，公正な判断力，豊かな表現力を身につけることを目指します。

２　学習の到達目標

近代以前の諸地域世界の特質と相互の交流を概略的に把握させ，近現代史を中心に，地球世界としての現代世界における人類の課題を追究させ，具体的かつ多角的に考察させる。その際，日本と世界とのつながりに着目させ，国際社会に生きる日本人としての主体的な態度を養う。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	歴史的・地理的事象に対する関心と問題意識を高め，　意欲的に追究するとともに，　国際社会に主体的に生き国家・社会を形成する日本国民としての責任を果たそうとする。	歴史的・地理的事象から課題を見いだし，我が国及び世界の形成の歴史的過程と生活・文化の地域的特色を世界的視野に立って多面的・多角的に考察し，国際社会の変化を踏まえ公正に判断して，　その過程や結果を適切に表現している。	歴史的・地理的事象に関する諸資料を収集し，有用な情報を適切に選択して，効果的に活用している。	我が国及び世界の形成の歴史的過程と生活・文化の地域的特色についての基本的な事柄を理解し，　その知識を身に付けている。
評価方法	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題	・提出課題 ・定期考査	・提出課題	・定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期中間	一体化に向かう世界と日本	・ルネサンスと宗教改革 ・大航海時代 ・絶対王政の時代 ・西・東ヨーロッパ諸国の展開 ・近代ヨーロッパと世界貿易	 ○ ○ ○	○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	ａヨーロッパ世界の特色に関心をもつ。 ｂルネサンスと宗教改革について関心を高め，その歴史的背景について考察し，その結果を適切に表現する。 ｃヨーロッパ世界の広がりについて地図を活用している。 ｃ写真や絵図の資料を集め，適切に活用している。 ｄヨーロッパ世界を形成した諸民族と文化の特色を理解している。	定期考査 ワーク 授業プリント
1学期期末	ヨーロッパ・アメリカの諸改革と世界の変動	・産業革命 ・アメリカ独立革命 ・フランス革命 ・ナポレオンとウィーン体制	○ ○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	ａ産業革命がもたらした社会的影響に関心をもつ。 ａアメリカやフランスでの革命について関心をもち学ぼうとする。 ｂ産業革命が果たした歴史的意義について，関連する資料を活用して考察し，その結果を適切に表現する。 ｂアメリカ独立革命・フランス革命・ラテンアメリカ諸国の独立について関心を高め，それらの背景と影響について多角的に考察し，その結果を適切に表現する。 ｃアメリカ独立革命，フランス革命，ラテンアメリカ諸国の独立が果たした歴史的意義について考察し，関連する資料を活用して基本的知識を身に付ける。 ｄアメリカ独立革命，フランス革命，ラテンアメリカ諸国の独立が相互に関連をもちながらおこったことを理解する。 ｄイギリス産業革命の背景を世界史的視野からとらえ，産業革命の結果，資本主義経済が確立したことを理解する。	定期考査 ワーク 授業プリント

2学期中間	拡大する欧米の衝撃とゆれるアジア・アフリカ	・１８４８年の革命 ・１９世紀後半のヨーロッパ諸国 ・１９世紀のアメリカ合衆国	○ ○ ○	 ○ ○	○ ○ ○	 ○	a ヨーロッパ市民社会の成立と発展について関心をもち学ぼうとする。 a アメリカの発展と先住民や黒人の関係に関心をもつ。 a 19 世紀の欧米文化に具体的な関心をもち学ぼうとする。 b 19世紀前半のヨーロッパでの自由主義やナショナリズムのあり方を考え，文章にまとめる。 b 19 世紀後半の欧米社会が各国独自に統合されていったことに気付く。 c 写真や絵図，さらに風刺画などを集め，適切に活用している。 c 19世紀前半のヨーロッパ社会の特色を理解している。 d 19世紀後半の欧米が独自に国家統合され，国際関係が複雑化したことを理解している。	定期考査 ワーク 授業プリント
2学期期末	現代世界のあゆみ	・帝国主義と世界分裂 ・ヨーロッパ国際関係の緊張 ・第一次世界大戦 ・満州事変から日中戦争へ ・ヨーロッパでの戦争 ・アジア・太平洋戦争	○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	a 帝国主義時代の社会について関心をもつ。 a 欧米列強の社会的特色に関心をもち学ぼうとする。 a 世界的規模で植民地化が進行したことに関心をもつ。 a 世界規模で行われた戦争について関心をもち学ぼうとする。 b 第一次世界大戦の特色を考え，アジアへの影響について気付く。 b 第二次世界大戦の特色を考え，アジアへの影響について気付く。 c 写真，映像，文字資料などを集め，適切に活用している。 d アフリカ，太平洋，中国への列強の進出を理解している。 d 第一次世界大戦の経緯とアメリカの役割について理解している。	定期考査 ワーク 授業プリント
学年末	第二次世界大戦後の世界	・国際連合と冷戦 ・ヨーロッパとアジアの冷戦 ・第三勢力の結集	 ○ ○	 ○	○ ○	○ ○ ○	a 東西対立について関心をもち学ぼうとする。 a 冷戦時代の日本の関わりに関心をもつ。 b 世界各地で紛争が冷戦の影響によるものと気付く。 b 地図を活用して冷戦期の世界を明らかにしている。 c 写真，映像，文字資料などを集め，適切に活用している。 d 東西陣営が形成されて冷戦が構造化されたことを理解している。	定期考査 ワーク 授業プリント

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。